

敦煌寫本研究年報

高田時雄 主編

岩尾一史 副主編
永田知之

第十六號

2022年3月

京都大學人文科學研究所
中國中世寫本研究會

編輯委員

赤木崇敏（東京女子大學）、荒見泰史（廣島大學）、岩尾一史（龍谷大學）、
岩本篤志（立正大學）、大西磨希子（佛教大學）、玄幸子（關西大學）、
坂尻彰宏（大阪大學）、辻正博（京都大學）、永田知之（京都大學）、
道坂昭廣（京都大學）、山口正晃（大手前大學）、山本孝子（廣島大學）

注 記

本號は編輯委員の一人道坂昭廣が研究代表者をつとめる日本學術振興會科學研究費基盤研究（B）「國際的情報發信を目的とした中國典籍日本古寫本に對する精密な研究」の研究成果の一部である。

目次

幸存者偏差與唐代避諱觀察——唐代避諱複雜性表現之一種 竇懷永	1
敦煌出土未修本《十誦律》再探 劉丹	27
五月一日經『寶雨經』補正——書寫次第の再検討 大西磨希子	45
唐五代敦煌における正月の燃燈儀禮 荒見泰史	61
「頻婆娑羅王后宮綵女功德意供養塔生天因緣變」初探 高井 龍	83
P.3864 「(擬) 刺史書儀」「吊儀」小考 ——書儀の成書過程の解明を目指して 山本孝子	97
重論《古逸叢書》本《玉燭寶典》之底本 富嘉吟	113
敦煌文書の世界に『冥報記』は存在したか 玄幸子	127
藤田豊八と草創期敦煌學 高田時雄	137

稿約

- 一、本刊には敦煌吐魯番寫本及び中央亞細亞發見寫本に關する多様な論考を收載するが、また日本古寫本のような中國外の地域に傳承される寫本についてもその採録範圍とする。
- 一、収録論文の採否は編輯委員會の議を経るものとし、原稿の修正を求める場合がある。
- 一、本刊に掲載する論文は、日本語、中國語或いは英語で執筆するものとし、執筆様式については特段の規定を設けないが、各言語において最も普通な方式を採用する。
- 一、本刊に掲載された論文は、原則として京都大學學術情報リポジトリ（KURE-NAI）を通じて、インターネット上で公開される。

〔敦煌寫本研究年報 第十六號〕

2022年3月31日發行

編者 《年報》編輯委員會

發行者 京都大學人文科學研究所
「中國中世寫本研究會」

〒606-8265 京都市左京區北白川東小倉町47

Phone 075-753-6993 Fax 075-753-6999

ISSN 1882-1626